

【令和5年度 山武市立日向小学校 学校評価アンケート結果報告】

【令和5年度アンケート回収率】

- ・児童総数 221 名、回収数 198 名 89.5%
- ・家庭数 174 名、回収数 144 名 82.7%
- ・職員数 21 名

※この結果は、質問に対する肯定的な回答率(下記 A、B を選んだ人数)を表しています。

(A:あてはまる、B:ややあてはまる、C:ややあてはまらない、D:あてはまらない、E:わからない)

《児童の生活について》

【質問1】児童は、楽しく(夢や目標を持ち)学校に通っていて、学校生活に満足している。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
児童	191 人/211 人 (90.5)	192 人/201 人 (95.5) ↑	191 人 (96.5) ↑
保護者	170 人/190 人 (89.4)	134 人/152 人 (88.2) ↓	125 人 (86.8) ↓
職員	(96.2)	(100) ↑	21 人 (100) →

◇年を追うごとに児童の満足度が向上しています。さらに児童にとって楽しい学校になるように努めてまいります。

【質問2】あなたは、今の学校に満足している。

回答者	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
保護者	132 人/152 人 (86.8)	127 (88.1) ↑

【質問3】質問2で「ややあてはまらない」「あてはまらない」と答えた方は、その理由を選んでください。

選択肢	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
授業	4 人/15 人 (26.7)	5 人/12 人
学校行事	5 人/15 人 (33.3)	6 人/12 人
生徒指導	9 人/15 人 (60)	4 人/12 人
部活動	0 人/15 人 (0)	4 人/12 人

保護者から	学校から
バス通学による体力低下感が否めないような気がするので、楽しく体力向上できるようにスポーツ大会みたいなのも良いと思います。	ご意見ありがとうございます。バス通学による体力低下については、学校でも心配しているところです。体力向上を目指してできる取り組みを考えます
歯磨きの再開をお願いします。口腔内環境がコロナやインフルエンザなどの予防効果があると知られています。来年からは希望者にはもう一度、家庭だけではなく、『うがい・手洗い・歯磨き』を徹底して学校でも健康で楽しい学校生活にしたいと思っています。	今年度1月19日オープンスクールにおいて、市の保健センターから衛生士の方に来ていただき、歯磨き教室を実施しました。校内での歯磨きについては、以前保健だよりでお知らせしましたが、希望者のみ給食後に実施しております。
「あなたとは遊びたくない、一緒に働きたくない」と言われることがあるようです。	早急に学級担任にご相談ください。校内体制を整えて、早急に対応します。

【質問4】児童は、挨拶や返事などの習慣が身についている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
児童	187 人/211 人 (88.6)	171 人/201 人 (85.1) ↓	174 人 (87.9) ↑
保護者	164 人/190 人 (86.3)	130 人/152 人 (85.5) →	121 人 (84.0) ↓
職員	(84.6)	(91.3) ↑	15 人 (71.4) ↓

◇挨拶や返事をしている「つもり」にとどまっていないか、「相手にどう受け取られているか」にきくばることのできるように、さらに取り組んで参ります。

【質問５】児童は、係や当番活動などで、自分の役割を果たしている。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	203 人／211 人(96.2)	195 人／201 人(97.1) ↑	184 人(92.9) ↓
保護者	170 人／190 人(89.5)	143 人／152 人(94.1) ↑	132 人(91.6) ↓
職員	(96.2)	(100) ↑	21 人(100) →

◇児童が、自分の仕事に対して達成感を持つことができるような場や言葉かけを積極的にしてまいります。

【質問６】児童は、いじめをされたり、いじめをしたりしていないと思う。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	172 人／211 人(81.5)	174 人／201 人(86.6) ↑	162 人(81.8) ↓
保護者	143 人／190 人(75.3)	126 人／152 人(82.9) ↑	112 人(77.7) ↓
職員	(84.6)	(78.3) ↓	19 人(90.4) ↑

◇過去３カ年の動向をみると、職員の満足度が上昇すると、児童・保護者の満足度が低下する傾向があるように見えます。児童が安心して生活できているか、危機意識をもって「いじめ認知システム」をより一層機能させていく必要があると考えます。

【質問７】学校は、誰もが学びやすい教育の環境を整えている。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	185 人／211 人(87.7)	194 人／201 人(96.5) ↑	189 人(95.5) ↓
保護者	154 人／190 人(81.1)	132 人／152 人(86.8) ↑	119 人(82.6) ↓
職員	(100)	(87.0) ↓	21 人(100) ↑

◇個の実情に応じて最適な学びを実現できるよう、引き続き教育環境の整備に努めて参ります。

【質問８】あなたは、子どもと向き合う時間を確保している。

(児童から見て)教員はあなたの話をよく聞いてくれるか。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童←教員	205 人／211 人(97.2)	198 人／201 人(98.5) ↑	195 人(98.5) →
保護者	174 人／190 人(91.6)	130 人／152 人(85.5) ↓	131 人(90.9) ↑
職員	(100)	(95.7) ↓	21 人(100) ↑

◇児童、保護者、職員ともに高い評価となりました。今後も、家庭と学校との連携をより一層密にしてまいります。

《学習について》

【質問９】教員は、新しい教材や教具を用いて授業を工夫し、学力の向上に努めている。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	208 人／211 人(98.6)	201 人／201 人(100) ↑	193 人(97.5) ↓
保護者	160 人／197 人(81.2)	131 人／152 人(86.2) ↑	124 人(86.1) →
職員	(80.8)	(82.6) ↑	20 人(95.2) ↑

◇タブレット端末等の ICT 機器を積極的に授業に取り入れているためか、高い評価を維持しています。この取り組みが、学力向上へとつながっていくように、児童個々が主体的に取り組み、友達と協働して取り組んだり、活動の中で学習を深めたりしていけるように授業改善を行って参ります。

【質問１０】教員は、児童一人一人の個性を大切に（リスペクトして）指導している。

（児童への質問：先生は、あなたのことを大切にしている。）

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	174人／211人(82.5)	197人／201人(98.0) ↑	189人(95.5) ↓
保護者	161人／197人(81.7)	124人／152人(81.6) →	123人(85.4) ↑
職員	(96.2)	(100) ↑	21人(100) →

◇今年度も、比較的に高い評価を得ることができました。今後も、児童一人一人の個性を尊重しながら、力を伸ばしていくために児童理解に努めます。

【質問１１】児童は、授業に意欲的に取り組んでいる。

（児童への質問：あなたは、授業にいっしょうけんめいに取り組んでいる。）

回答者	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	191人／201人(95.0)	190人(96.0) ↑
保護者	129人／152人(84.9)	119人(82.6) ↓
職員	(95.7)	21人(100) ↑

◇多くの児童が一生懸命に取り組んでいると回答しています。目指す学校像である「夢中を楽しむ学校」のもと、意欲的に取り組める児童の100%を目指して、よりわかりやすい授業づくりを進めていきます。

【質問１２】児童は、基礎的な学習内容を身に付けている。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	192人／211人(91.0)	190人／201人(94.5) ↑	185人(93.4) ↓
保護者	161人／197人(81.7)	122人／152人(80.3) ↓	115人(79.8) ↓
職員	(73)	(56.5) ↓	17人(80.9) ↑

◇基礎的な学習内容が身に付いていると考えている職員が増えました。研修等で学力について理解を深めてきたことで肯定的な回答につながっているようです。児童、保護者ともに回答率を下げているので、基礎的な学習内容の確かな定着を目指して、今後も取り組んで参ります。

【質問１３】児童は、授業を理解し、自分の考えをわかりやすく説明することができる。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	165人／211人(78.2)	178人／201人(88.6) ↑	156人(78.8) ↓
保護者	128人／197人(65.0)	117人／152人(77.0) ↑	101人(70.1) ↓
職員	(50)	(56.5) ↑	9人(42.8) ↓

◇3者ともに評価が低下しています。どの教科の学習においても表現力の必要性が高まる一方で、自分の感情や意見等を「楽しかった」「同じです」などの簡単な言葉でまとめる児童も少なくありません。「どう分かったのか」「自分にはどう伝わったのか」等について、言語化する・可視化するといった言語活動を積極的に取り入れていく必要があります。

【質問１４】家庭では、家庭学習などを応援し、学習時間を十分確保している。

（児童への質問：おうちの人は家庭学習を応援してくれて、学習の時間もしっかりとってくれる。）

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	159人／211人(75.4)	183人／201人(91.0) ↑	182人(91.9) ↑
保護者	176人／197人(89.3)	119人／152人(78.3) ↓	96人(66.6) ↓
職員		(39.1)	11人(52.4) ↑

◇児童は90%以上が応援されていると感じている一方で、保護者や職員は、期待しているほど取り組んでいないと認識していることが分かります。学校としては、時間数を増やすこと自体を目的化するのではなく、結果的に学習時間が増加・確保できるような、学習方法や内容を指導してまいります。

《健康・体力について》

【質問１５】学校は、適切に児童の体力向上や病気の予防に取り組んでいる。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	187人／211人(88.6)	198人／201人(98.5) ↑	193人(97.5) ↓
保護者	143人／164人(87.2)	132人／152人(86.8) →	127人(88.1) ↑
職員	(92.0)	(100) ↑	21人(100) →

◇児童・保護者ともに比較的高い評価をいただきました。一方で、バス通学の影響等を懸念する保護者の声も看過できません。今後も、児童が自ら体力向上や病気の予防に取り組むことができるよう指導してまいります。

【質問１６】児童は、積極的に運動し、健康な体作りや病気の予防に取り組んでいる。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	184人／211人(87.2)	189人／201人(94.0) ↑	174人(87.9) ↓
保護者	127人／164人(77.4)	121人／152人(79.6) ↑	115人(79.8) ↑
職員	(96.0)	(91.3) ↓	20人(95.2) ↑

◇熱中症対策のための運動会練習の縮小、競技の精選、インフルエンザ等で、一部の学級で学級閉鎖を行ったこともあったためか、児童の満足度が低下しました。健康教育の取組の一環として、今後も「ロング昼休み」の時間を確保したり、食育に関する授業や歯磨き教室等を実施したりするなど、今後も健康な体作りや病気予防を積極的に取り組んでまいります。

【質問１７】児童は、他の学年の人たちとも仲が良く、よく遊ぶ。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	180人／211人(85.3)	169人／201人(84.1) ↓	167人(84.3) →
保護者	122人／164人(74.4)	111人／152人(73.0) ↓	112人(77.7) ↑
職員	(80.0)	(91.3) ↑	20人(95.2) ↑

◇比較的高い評価を維持しています。休み時間等では、上学年が下学年と仲良く遊ぶ姿が日常的に見られます。今後も、異学年交流ができるよう、工夫していきます。

【質問１８】家庭では、児童の病気の予防や、けが・事故の防止に努めている。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	184人／211人(87.2)	194人／201人(96.5) ↑	192人(97.0) ↑
保護者	157人／164人(95.7)	150人／152人(98.7) ↑	123人(85.4) ↓
職員		(69.6)	14人(66.7) ↓

◇児童は、家庭内で、けがや事故防止等に関する声かけをしてもらっている自覚はあるものの、しかし、保護者や職員が期待するほどには行動化できていないという状況が見て取れます。今後は、「～しなさい」ではなく、「あなたはどう思う？」など、健康や安全を意識できるような問いかけを行い、児童が当事者意識を持つことができるようにしていく必要があります。

【質問１９】児童・保護者は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化に努めている。

回答者	令和３年度（％）	令和４年度（％）	令和５年度（％）
児童	188人／211人(89.1)	192人／201人(95.5) ↑	179人(90.4) ↓
保護者	141人／164人(86.0)	128人／152人(84.2) ↓	123人(85.4) ↑

◇「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化は、児童が落ち着いて学習や生活に臨むことができるための最低条件です。夜遅くまでゲームなどをしていて睡眠時間が確保できていない児童ほど、学校生活の様々な場面でぼんやりしていたり、感情的・衝動的な言動が見られたりしています。まずは、「早起き」から習慣化させたいところです。

【質問 20】家庭では、適切な運動の習慣化に努めている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
児童	180 人／211 人 (85.3)	161 人／201 人 (80.1) ↓	154 人 (77.8) ↓
保護者	117 人／164 人 (71.3)	108 人／152 人 (71.1) →	104 人 (72.2) ↑

◇学校では「ロング昼休み」の時間を確保していますが、ご家庭においても、積極的に「歩くこと」を生活に取り入れるなど、無理のない範囲で、子どもたちが運動をすることに意識できるような声かけをお願いいたします。

【質問 21】家庭では、お子さんの睡眠時間の確保に努めている。

(児童への質問：あなたは、家でよく眠るようにしている。)

回答者	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
児童	182 人／201 人 (90.5)	179 人 (90.4) →
保護者	132 人／152 人 (86.8)	129 人 (89.5) ↑
職員	(26.1)	10 人 (47.6) ↑

◇【質問 19】とも重なりますが、睡眠時間の確保は、健康的な生活を送るうえでとても大切です。日本人は、世界中でも睡眠時間が少ないということも指摘されていることから、まずは私たち大人自身の睡眠状況を振り返り、積極的に睡眠時間を確保できるよう、率先垂範していきましょう。

《情報発信・地域連携について》

【質問 22】お子さんは、お金や物を大切にしている

回答者	令和5年度 (%)
児童	188 人 (94.9)
保護者	103 人 (71.5)
職員	17 人 (80.9)

◇今年度は、保護者参観日でも金銭教育に係る授業を積極的に展開しました。令和6年度は、広く地域に授業公開を行う予定です。賢い消費者に近づけられるよう、道徳などをはじめ、日頃の授業をより充実させてまいります。

【質問 23】学校は、必要な情報を各種たよりや「さくら連絡網」、ホームページなどで伝えている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
児童	183 人／211 人 (86.7)	195 人／201 人 (97.0) ↑	190 人 (96.0) ↓
保護者	171 人／180 人 (95.0)	143 人／152 人 (94.1) →	138 人 (95.8) ↑
職員	(100)	(100) →	21 人 (100) →

◇おかげさまで、「さくら連絡網」でのやり取りも定着し、欠席連絡だけでなく、気軽に問い合わせ等もいただけるようになりました。本校のホームページには、日々の様子や行事の写真を掲載しています。定期的にアクセスしていただき教育活動の一端をご覧ください。

【質問 24】学校は、学校行事や参観日などを、状況に応じて積極的に公開している。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
児童	183 人／211 人 (86.7)	194 人／201 人 (96.5) ↑	177 人 (89.4) ↓
保護者	170 人／180 人 (94.4)	147 人／152 人 (96.7) ↑	140 人 (97.2) ↑
職員	(92.0)	(100) ↑	21 人 (100) →

◇今年度は3回オープンスクールを実施しました。ご参加いただいた多くの保護者の皆様から、貴重なご意見やご感想等も寄せていただき、改善できる点については、なるべく早めに対応できるよう努めてまいりました。その他の学校行事についても、今年度は、人数制限なくご覧いただくことができたためか、高い評価の回答をいただきました。今後も積極的に公開してまいります。

【質問25】教員は、親身に相談に応じ、家庭との連絡を密にしている。

(児童への質問：先生は、おうちのひとと、よく話をしていると思う。)

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)	令和5年度 (%)
児童	163人／211人(77.3)	192人／201人(95.5) ↑	162(81.8) ↓
保護者	160人／180人(88.9)	134人／152人(88.2) →	130(90.2) ↑
職員	(80.0)	(87.0) ↑	20人(95.2) ↑

◇保護者の方から肯定的な高い評価を回答いただきました。今後も丁寧に保護者の方々と連絡を密にしていきたいと考えます。心配な点、気になる点などあれば、いつでも学校へご相談ください。

保護者から	学校から
○2学期もありがとうございました。	・ありがとうございます。 今後も「夢中をたのしむ学校」を目指し、 取り組んで参ります。
○引き続きどうぞよろしくお願いいたします。	
○3学期もよろしくお願いします。	
○いつもありがとうございます。	
○今年はお世話になりました。ありがとうございました。	
○学校行事にも参加させて頂けて普段の学校での様子が分かるので、嬉しく思います。沢山の生徒さんがいる中で、ちゃんと見て頂けているので、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。3学期も引き続き宜しくお願い致します。	・ありがとうございます。帰ってきたお子様を、しっかりと迎えてくださっていることが伝わります。たくさんの人達との関わり合いを今後も大切にします。
○いつも帰ってくる娘の顔が凄く良い顔をしてるので、安心しております。分からない事があると担任の先生から教えて頂けるので、凄く安心して通わせる事が出来ます。バスが一緒の他学年の子達が助けてくれたりするので、本当に有難いです。	
○マラソン大会は、冬ではなく秋頃にできないのですか？	・ご意見ありがとうございます。 今年度のマラソン大会は、学年ごとにマラソンを実施するように変更しました。子どもたちの声を尊重しながら、今後も、よりよい運営の在り方について検討してまいります。また、苦手なものを遠ざけていくことではなく、その活動の趣旨、目的をしっかりと設定して、子ども達にとっての成長につながる活動を計画してまいります。
○マラソン大会廃止の意向があるとのことでしたが、子供の「嫌」を全て取り除いてしまうのは果たして子供達の為になるのでしょうか？運動会の縮小も進捗中、マラソン大会もなくなってしまうのかと思うと親として寂しくもあり子供の育成面も心配です。	
○日常的にマラソン等、外遊びの時間を増やして欲しい。	
○マラソン大会、無くさないでほしいです。運動会の徒競走も小6以外なし（暑さ対策の短縮版だったから？）、マラソン大会もなし？【マラソン大会は、走る事が得意なお子さんは良いが、不得意な子供はギャラリーが多く、最後まで見られている事を嫌がっている】との意見もあるようですが、それを言っただけでは何もできないのでは？授業参観も発表も、見られたくないから、発表が苦手だからなし…掲示物も作成物も全て取り外して見せないようにでもしていくのでしょうか。過剰反応だと思います。（この内容を記載しているのも過剰に感じますが、このままだと無くなりそうなので記載しました）どんどん子どもたちが表へ出る機会がなくなっていく気がしますね…	

保護者から	学校から
○旧日向小で行っていた音楽発表会のようなクラス発表がないのが残念…クラス一丸となって作り上げていくものがあったとしても良い気がします（先生方の負担が増えてしまいますが…）	・教育委員会からさくら連絡網で「5 時間授業の推進について」メール配信がありましたが、来年度から5 時間の日数を増やす予定でいます。授業時間を確保しながら、児童がより充実した学校生活や学校行事に取り組めるように検討をしていきます。
○行事によっては苦手意識が出てしまい、学校に行っても調子が悪い時もありました。 しかし、先生方の力もあり、声をかけてくださったお陰で一年間やりきることが出来ました。	
○バスの中が騒がしいようです。帰ってくると「あーうるさかった」とよく言います。	・バスの乗車については、学校でも引き続き指導してまいります。 ・通学バス運行に関する規程でバス利用中は、騒いだりしないことが定められています。場合によっては、通学バスの利用自体をご遠慮いただくといった措置も視野に入れ、粘り強く指導してまいります。ご家庭でもお声かけ願います。
○仕事をしている為、今回のマラソン大会の振り返り日時も急に決まったのは少し困りました。元々予定していた日時がダメになった場合の日時も最初に提示していただきたいです。	・子ども達が、安心してマラソンに臨めるようにと日程を変更させていただきましたが、ご迷惑をおかけすることになり、申し訳ございませんでした。 ・4 月当初に、各学年の行事等についてはご連絡させていただいているところですが、行事の詳細や予定等早めのご案内に努めます。
○学校行事のお知らせは、当月ではなくせめて1ヶ月前には知らせてほしいです。	
○本人に合った、無理のない学びや生き方を、見守りサポートしてくださっていると感じています。	・ありがとうございます。
○私の子供は外国人です。一人で遊んでいます。彼女は孤独を感じています。私の子供は身体的にも精神的にも元気です。他の子供たちに彼女と遊ぶように伝えてもらえますか？子どもたちが学校で孤独に過ごしているのを見るのは、親にとって胸が張り裂けるような思いです。ほかの子ども達と一緒に遊ぶように頼んでもらえますか。お願いします。	・本校では「いじめ認知システム」を構築し、毎日、児童のいじめに関する情報を共有しています。気になる児童については、積極的に関わりをもち、早期発見早期解決に努めているところです。ご参考までに、本校ウェブサイトもご覧ください。本件についても、早急に対応させていただきました。
○友達関係で悩むことも増えてきたので相談に乗っていただけると嬉しいです。一年間ありがとうございました。	
○部活動の大会の時に写した写真や動画を公開してほしい。	・写真については、日向小学校ウェブサイト内の「★フォトアルバム」にてご覧いただけます。

【学校評価アンケートをまとめて】

- 生活面では、いじめ等についての不安が解消されつつありますが、過去3カ年の経年変化をみると、【質問6】の結果を見る限り、職員の満足度が上昇すると、児童・保護者の満足度が低下する傾向があるように見えます。児童が安心して生活できているか、職員が危機意識をもって「いじめ認知システム」をより一層機能させていくと同時に、これまで以上に各家庭と連携を図る必要があると思います。また、今回の学校評価アンケートに限らず、定期的に集約している保護者アンケート等にも、外国人児童に対する暴言等の事実が認められました。その都度、早急に対応いたしました。来年度に向けては、スリランカをはじめとする異文化理解を一層進めるとともに、共生社会の実現をめざした学校運営に努めてまいります。
- 学習面では、児童の表現力に関する保護者や職員の課題意識が浮き彫りとなりました。同じ「言う」でも、「ささやく」「わめく」「怒鳴る」「話す」「つぶやく」など様々な語彙がありますが、多くの子どもたちはそれらにある程度知っていても、使う段階にまで習熟していない傾向が見られます。理解している語彙を、表現できる語彙にまで高めていくためには、日頃から「書く活動」や「話す活動」の場面を積極的に確保したり、読書活動を充実させたりする必要があります。家庭学習の時間の確保については、引き続き課題として残りましたが、単に家庭学習の時間の確保自体を目的化するのではなく、上述したような語彙を豊かにするための読書環境や言語環境を整えていく必要性を感じます。

- 健康・体力面については、睡眠時間の確保が不十分である実態が、昨年度に引き続き課題として残りました。子どもたちだけでなく、日本の睡眠時間は、諸外国と比較してもかなり少ないことが指摘されており、まずは大人が睡眠時間の重要性を認識し、率先垂範を心がけていくことが大切なのではないかと思えます。
- 情報発信については、本校ウェブサイトを通じて、令和４年度と同様、令和５年度も約２００件の記事をアップしてきたことや、メール連絡が容易にできるアプリ「さくら連絡網」を有効に活用してきたことが功を奏し、昨年度に引き続き高評価を得ることができました。
- 地域連携については、今年度も、「山武西まちづくり協議会」や地域の社会福祉協議会の方々をはじめ、ＰＴＡ本部役員の皆様のあたたかいご支援のおかげで、子どもたちだけでなく、教職員も豊かな教育活動を計画・運営することができました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。引き続き、来年度以降も、あたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和６年２月２２日

山武市立日向小学校 校長 大 木 圭